

事業の基礎情報

実施主体	津エアポートライン株式会社
事業実施地域	津市・伊勢市・鳥羽市
共創の類型	交通事業者間共創
他分野共創の類型	
共創パートナー	津エアポートライン株式会社・安全タクシー三重株式会社・日本航空株式会社
運行形態	航路・貸切タクシー
運行主体	津エアポートライン株式会社・安全タクシー三重株式会社

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

高速船とバスを乗り継いで中部国際空港から伊勢・鳥羽地区間を利用するお客様の移動を担ってきたが、大型バスによる小頻度大型の輸送ではニーズにフィットしておらず、また三重交通バスのドライバー不足による運行終了に伴い、代替手段の確保が必要であった。中部国際空港から三重県への海上アクセス航路の玄関口である津なぎさまちと、主たる観光地である伊勢・鳥羽地区との移動手段の利便性向上を図るものである。伊勢志摩地域の宿泊・観光施設においても交通の利便性では課題となっており、地域への活性化の一助とする。

（事業の概要）

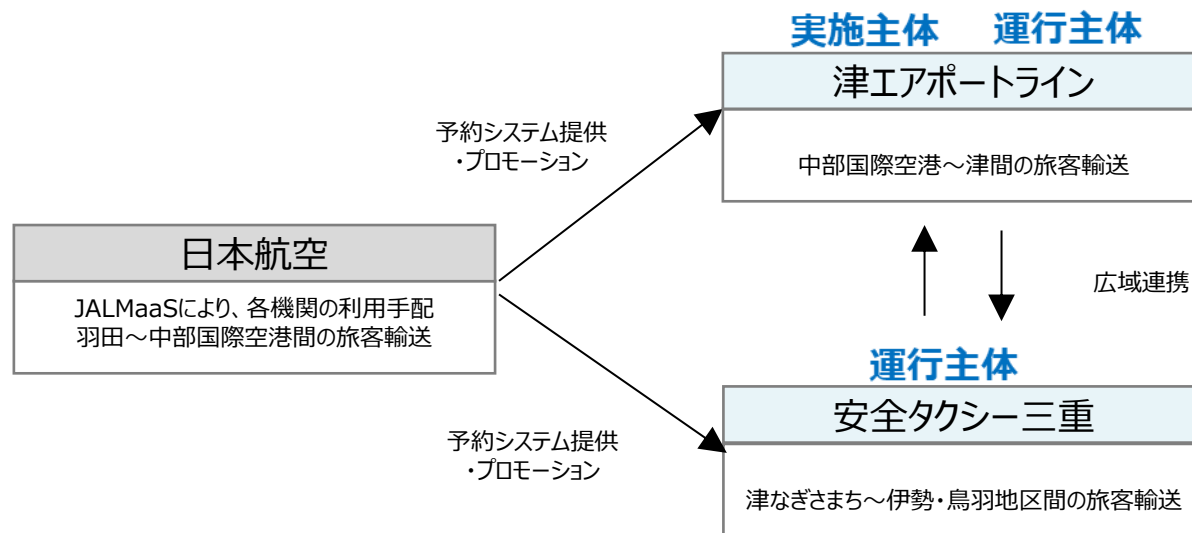
JAL MaaS（経路検索サービス）を活用して飛行機利用を中心に船、デマンド型のタクシーまで一気通貫したサービスを提供することで移動のハードルを下げ、利用率向上を目指す。また、Web予約上では乗降場所(伊勢地区)の設定まで完結できなかった部分をシステム改良し、Web上のみで成立できるように取り組む。

中部国際空港と伊勢・鳥羽地区をDXで繋ぐ多頻度小型交通連携事業

応募様式A

中部国際空港と伊勢・鳥羽地区をDXで繋ぐ
多頻度小型交通事業者の連携プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

三重県下において主たる観光目的である伊勢・鳥羽地区において、空路から海上交通を利用後はさらにバス・電車を乗り継いで目的地まで移動しなければならず、また三重に着いてから最寄り駅ではなく目的地へダイレクトに到着できることは移動にかかるストレスが軽減される。さらにデマンド型のタクシーということから、1人当たりのコスト軽減にも繋がる。また、伊勢・鳥羽地区に居住している方や企業様が航空便を利用される場合においても、伊勢地区から中部国際空港への移動に掛かるストレスが軽減されることが想定される。

(実証事業により見込まれる効果)

従前あった伊勢特急バスの代替としては、デマンド型のタクシーに置き換えた場合に機動力、目的地までの所要時間を勘案すると十分有効性のあるプランとなり得る。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

実施スケジュール													
	月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1	計画	3社	↔										
2	システム改修	日本航空	↔										
3	チラシ作成	津エアポートライン	↔										
4	プロモーション	日本航空		←→									
5	実証運行	津エアポートライン		←→									
		安全タクシー-三重		←→									
6	精算	3社										↔	
7	実績報告	3社										↔	

(補助事業実施後の予定)

昨年度実装したもののシステムや路線は、継続して稼働をしており、補助がない期間も運行を実施している。本取り組みの中で更なるお客さまのニーズに合わせた路線拡大（システムおよびオペレーション構築）を行い、また販売価格の適正化を図ることで、補助終了後の持続的実装を行なっていく予定である。

実証実験後、利用状況や問題点について分析を行い、継続した取組を行っていくこととする。